

■自己点検・評価書

	頁	行	誤	正
1	19	25	学習成果基盤型教育（OBE）に	学習成果基盤型教育（OBE）の形式に
	20	7		
2	35	↑7	ディプロマ・サプリ	ディプロマ・サプリメント
	35	↑5		
	38	1		
	38	14		
	38	14		
	38	16		
	38	17		
	39	7		
	39	8		
	39	19		
	39	26		
	39	29		
	40	31		
40	2			
40	3			
3	47	↑2	30名（各系列5名の教員で6系列で30名）を上限として	30名（各系列5名の教員で6系列で30名）を目安として
4	49	↑12	は薬学科教授会に報告される	は学科会議に報告される
5	49	↑6	全学審査委員会および専門分科会、専任教授会の3段階で行われる。	全学審査委員会および専門分科会の2段階で行われる。
6	54	4	～整備しており、	～整備している。
	57	26		
7	58	19	共同利用施設	共同研究施設
8	65	↑6	10～20名程度	12～36名
9	66	6	模擬調剤薬局	模擬保険薬局
10	66	↑7	創薬情報科学研究室（46.40 m ² ）	創薬情報科学研究室（23.2 m ² ）
11	67	9	各研究室は46.40 m ² である。	各研究室は23.2 m ² である。

■基礎資料

	資料 番号	頁	箇所	誤	正
1	9	44	(基礎資料9) 訂正版 (令和4年10月11日提出)		赤字部分：業績等の追加・修正
2	9	48	(基礎資料9) 訂正版 (令和4年10月11日提出)		赤字部分：業績等の追加・修正
3	11-1	66	(基礎資料11-1) 訂正版 (令和4年10月11日提出)		赤字部分：記述内容の追加・修正
4	11-2	67	(基礎資料11-1) 訂正版 (令和4年10月11日提出)		赤字部分：記述内容の追加・修正

以下を添付

- ・基礎資料9 訂正版（該当頁のみ）
- ・基礎資料11-1 訂正版
- ・基礎資料11-2 訂正版

(基礎資料9) 専任教員の教育および研究活動の業績

教育および研究活動の業績一覧			
大学名 九州保健福祉大学	講座名 薬理学第1講座	職名 教授	氏名 山本 隆一
I 教育活動			
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)		2021年4月	機能形態学3および生理・薬理学3の担当教科において、独自の講義資料を作成している。また、各章の終りには解答付きの練習問題集を掲載し、学生が理解度を自覚できるよう工夫している。
2 作成した教科書、教材、参考書		2021年4月 2019年4月 2019年4月	機能形態学3 講義資料 生理薬理3 講義資料 薬理学実習教材
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等			なし
4 その他教育活動上特記すべき事項 (FDを含む)		2019年4月	高学年学生が、携帯等で学力を確認できるように各種問題を自学できるオンラインシステムである[SATT]を導入した。
II 研究活動			
1. 著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月(西暦)	発行所、発表雑誌(巻・号数)等の名称
Diabetes mellitus induces hyperreactivity of 5-hydroxytryptamine (5-HT)-induced constriction in human internal thoracic artery and is associated with increase in the membrane protein level of 5-HT _{2A} receptor	共著	2018年4月	Biological and Pharmaceutical Bulletin, 41 (2018) 1-5
Differences in the response to periarterial nerve stimulation or exogenous noradrenaline infusion in the mesenteric vascular bed with the intestinal tract harvested from commonly used rat models of hypertension.	共著	2019年9月	Clinical and Experimental Pharmacology and Physiology, 46 (5), pp. 427-434.
Effects of M-1, a major metabolite of sarpogrelate, on 5-HT-induced constriction of isolated human internal thoracic artery	共著	2020年9月	Biological and Pharmaceutical Bulletin, 43, 1979-1982
Brazilian propolis (AF-08) inhibits collagen-induced platelet aggregation without affecting blood coagulation.	共著	2021年5月	Journal of Natural Medicines https://doi.org/10.1007/s11418-021-01518-w
2. 学会発表(評価対象年度のみ)		発表年・月	学会名
ヒト冠動脈バイパス内胸動脈グラフトのれん縮を予防するパパペリンの至適濃度について		2022年3月	日本薬学会 第142年会
III 学会および社会における主な活動(直近5年間に携わったもの数件)			
1988-	日本薬理学会学術評議員		
2006/02- 2010/03	日本薬学会代議員		
2007-2020	宮崎県衛生環境研究所調査研究評価員委員		

- [注] 1 対象期限: 評価対象年度を含む直近5年間の教育活動、研究活動等。論文は *in press* を含む。各教員ごとに記載してください。学内の対象期限を決めて上に記入してください。
- 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
- 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください(年度ごとに代表的なもの2件まで)。
- 4 「II 研究活動」は、直近5年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
- 5 「III 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
- ※ 「III 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会名の記載も可。
- ※ 該当する記入事項がない場合は「なし」と記入してください。

(基礎資料9) 専任教員の教育および研究活動の業績

教育および研究活動の業績一覧			
大学名 九州保健福祉大学	講座名	職名 教授	氏名 比佐博彰
I 教育活動			
教育実践上の主な業績		年 月 日	概 要
1 教育内容・方法の工夫 学習成果の自己確認と自己学習の推進		2017年4月～ 現在	各回の授業において、到達度を確認するテストを実施し、学生どうして正解へ導びかせている。 2020年よりすべての授業資料を前もってweb上で配布することで、授業外の自己学習を促している。
2 作成した教科書、教材、参考書 授業プリント、確認テスト、演習問題		2017年4月～ 現在	オーバービューから各論へ導入する授業プリント、各回の授業内容と到達度を確認する小テスト、科目全体の到達度を知る演習問題を作成し、授業に活用している。
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等 「第4回若手薬学教育者のためのアドバンスト・ワークショップ」		2018年10月	日本薬学会主催の左記ワークショップに実行委員・タスクフォースとして参加し、作業説明とグループワーク補助を行った。
4 その他教育活動上特記すべき事項 FD研修会への参加		2017年4月～ 現在	九州保健福祉大学内のFDに毎年参加し、授業・学生指導の改善に向け対応している。
II 研究活動			
1. 著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表の年月(西暦)	発行所、発表雑誌(巻・号数)等の名称
(著書) パートナー機能形態学改訂第3版(第10章)	共著	2018年12月	南江堂
(著書) 新しい疾患薬理学(第5章)	共著	2018年3月	南江堂
2. 学会発表(評価対象年度のみ)		発表年・月	学会名
(演題名) Google driveを利用した自己学習支援システムの構築		2021年8月	第6回日本薬学教育学会大会
(演題名) 腎虚血再灌流による虚血性腎不全発症に関与した線維化及び炎症の経時的変動		2017年12月	第34回日本薬学会九州支部大会
III 学会および社会における主な活動(直近5年間に携わったもの数件)			
1980年4月～現在	日本薬理学会員(評議員, 1989年4月～現在)		
1993年4月～現在	日本薬学会会員		

- [注] 1 対象期限: 評価対象年度を含む直近5年間の教育活動、研究活動等。論文は *in press* を含む。
各教員ごとに記載してください。学内の対象期限を決めて上に記入してください。
- 2 基本的に同様の内容であれば、大学独自の様式で作成した業績一覧を提出することができます。
- 3 「I 教育活動」は、各項目ごとに年月日順に記入してください(年度ごとに代表的なもの2件まで)。
- 4 「II 研究活動」は、直近5年間の代表的な著書・論文等、5つを記入してください。
- 5 「III 学会および社会における主な活動」は、就任年月日順に記入してください。
- ※ 「III 学会および社会における主な活動」は、若手教員の場合には加入学会名の記載も可。
- ※ 該当する記入事項がない場合は「なし」と記入してください。

(基礎資料11-1) 薬学科の教育に使用する施設の状況

施設 ¹⁾		座席数	室数	収容人員合計	備考
講義室・演習室 ²⁾	大講義室	300	2	600	7号棟講義室33, 34
	中講義室	200~220	4	840	5号棟講義室23 (200名), 27 (200名)、 7号棟講義室31 (220名), 32 (220名)
	コンピューター演習室	48~54	2	102	GBTで利用
	小講義室	75~120	3	270	5号棟講義室24 (120名), 25 (75名), 26 (75名)
実習室	物理・化学系実習室	112	3	336	7号棟第2実習室A、第3実習室A, B
	生物系実習室	112	3	336	7号棟第1実習室A, B、第2実習室B
	臨床系実習室	48	3	144	4号棟ベッドサイド実習室 (48名)、 模擬病院薬局 (48名)、模擬保険薬局 (48名)
自習室等 ³⁾	自習スペース	12~16	6	76	4号棟1階エレベーターホール (16名)、 4号棟2階~6階エレベーターホール (各12名)
	自習スペース	12~36	3	84	7号棟1~2階エレベーターホール (各36名) 7号棟3階エレベーターホール (12名)
薬用植物園	※以下の概要を任意の様式で記載してください。 ① 設置場所 (薬学部キャンパス内か別キャンパスか) : キャンパス内に設置 ② 施設の構成と規模 : 3,531㎡ ③ 栽培している植物種の数 : 285種 ④ その他の特記事項 : 初年次から授業で薬用植物園実習を実施するなど活用している。				

- [注] 1) 総合大学では薬学部の教育で使用している講義室、演習室、実習室などを対象にしてください。
- 2) 講義室・演習室には収容人数による適当な区分を、例示を参考に設けて、同じ区分での座席数の範囲を示してください。また、固定席か可変席か、その他特記すべき施設なども、例示を参考にして備考欄に記入してください。コンピューター演習室の座席数は学生が使用する端末数としてください (教卓にあるものを除く)。
- 3) 学生が自習などの目的で自由に利用できる開放スペースがあれば記載してください。

(基礎資料11-2) 卒業研究などに使用する施設

表1. 講座・研究室の施設

施設名 ^{1), 2)}	面積 ³⁾	収容人員 ⁴⁾	室数 ⁵⁾	備 考
講座	123m ²	3人	12	教授室、准教授・講師室、ゼミスペース、実験室
研究室	23m ²	1人	6	個人研究室（個室）
演習室	137m ²	25人	4	学生に開放している演習室
	m ²	人		
	m ²	人		

- 1) 単独の講座・研究室などが占有する卒業研究で使用する学生用研究室は、（基礎資料11-1）と重複してかまいません。
- 2) 複数の講座・研究室が（隣接する2～3講座で共用で）占有する施設があれば、記載してください。
実験室・研究室に広さが異なるものがある場合は、「大・小」、「大・中・小」のように大まかに区分してください。
- 3) 同じ区分の部屋で面積に若干の違いがある場合、面積には平均値を記入してください。
- 4) 1室当たりの収容人数を記入してください。同じ区分の部屋で若干の違いがある場合は平均値を記入してください。
- 5) 薬学科の卒業研究を担当する講座・研究室が占有する部屋の合計数を記入してください。（ひとつの講座・研究室当たりの数ではありません。）

表2. 学部で共用する実験施設

施設の区分 ^{1), 2)}	室数	施設の内容
機器室	5	NMR室、機械室、中央機器室、機器分析室 1, 2
細胞培養室	2	細胞培養室 1, 2
動物飼育施設	7	飼育室 1～4、実験室、洗浄室、倉庫 3
その他の施設	1	ロッカー室 2

- 1) 実験動物施設、NMR室など、例示を参考に、大まかな用途による区分を設け、各区分に含まれる室数と施設の内容を例示のように列記してください。（面積などは不要です。）
- 2) 例示以外の実験施設（例えば、培養室など）があれば追加してください。